

認定書

国住指第238号
平成27年6月4日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 日比 祐市 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第九号及び同法施行令108条の2第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-4083
2. 認定をした構造方法等の名称
合成樹脂フィルム・塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（不燃材料（金属板））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

合成樹脂フィルム・塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材(不燃材料(金属板))

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	3.0 \pm 0.3以下
表面化粧材の質量(g/m ²)	495.0 \pm 49.5以下

3. 材料構成

項 目	仕 様														
表面化粧材	<p>合成樹脂フィルム・塩化ビニル系樹脂壁紙</p> <p>…厚さ3.0\pm0.3mm以下</p> <p>質量495.0\pm49.5g/m²以下(有機質量190.0\pm19.0g/m²以下)</p> <p>構成:</p> <p>[1]化粧:合成樹脂フィルム</p> <p>…厚さ0.05\pm0.005mm以下</p> <p>質量40.0\pm4.0 g/m²(固形量)以下(有機質量20.0\pm2.0g/m²以下)</p> <p>構成:</p> <p>[1]-1 合成樹脂フィルム:(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)合成樹脂フィルム^{※1}…厚さ0.05\pm0.005mm以下</p> <p>質量14.5\pm1.5g/m²(固形量)以下(有機質量14.5\pm1.5g/m²以下)</p> <p>(2)フッ素系樹脂フィルム…厚さ0.05\pm0.005mm以下</p> <p>質量20.0\pm2.0g/m²(固形量)以下(有機質量20.0\pm2.0g/m²以下)</p> <p>[1]-2 合成樹脂:(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)合成樹脂:質量15.0\pm1.5g/m²(固形量)以下(有機質量5.5\pm0.6g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)</p> <table border="0"> <tr> <td>合成樹脂^{※2}</td> <td>…………… 5.5\pm0.6以下</td> </tr> <tr> <td>(但し、ポリエステル系は2.0～4.0とする)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※8}</td> <td>……………0～14.0\pm1.4</td> </tr> <tr> <td>無機質系添加剤^{※3}</td> <td>……………0～14.0\pm1.4</td> </tr> </table> <p>(2)なし</p> <p>[1]-3印刷インキ:(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)印刷インキ:質量15.0\pm1.5g/m²(固形量)以下(有機質量 5.5\pm0.6g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)</p> <table border="0"> <tr> <td>合成樹脂インキ^{※4}</td> <td>…………… 5.5\pm0.6以下</td> </tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※8}</td> <td>……………0～14.0\pm1.4</td> </tr> <tr> <td>無機質系添加剤^{※3}</td> <td>……………0～14.0\pm1.4</td> </tr> </table> <p>(2)なし</p>	合成樹脂 ^{※2}	…………… 5.5 \pm 0.6以下	(但し、ポリエステル系は2.0～4.0とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～14.0 \pm 1.4	無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～14.0 \pm 1.4	合成樹脂インキ ^{※4}	…………… 5.5 \pm 0.6以下	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～14.0 \pm 1.4	無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～14.0 \pm 1.4
合成樹脂 ^{※2}	…………… 5.5 \pm 0.6以下														
(但し、ポリエステル系は2.0～4.0とする)															
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～14.0 \pm 1.4														
無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～14.0 \pm 1.4														
合成樹脂インキ ^{※4}	…………… 5.5 \pm 0.6以下														
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～14.0 \pm 1.4														
無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～14.0 \pm 1.4														

項 目	仕 様	
表面化粧材 (つづき)	[2] 主素材：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする	
	(1) 塩化ビニル系樹脂	
	…厚さ 2.8 ± 0.28 mm以下	
	質量 305.0 ± 30.5 g/m ² 以下 ^{※5} (有機質量 105.0 ± 10.5 g/m ² 以下 ^{※6})	
	構成 (g/m ²) ^{※5}	
	塩化ビニル樹脂	……………78.4 \pm 7.8以下
	可塑剤 ^{※7} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	……………42.2 \pm 4.2以下
	(但し、減粘剤は、0～7.5 \pm 0.8の範囲とする)	
	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………15.7 \pm 1.6以上
	有機質系発泡剤 (アリジカルボンアミド系、オキシスチレンポリブタジド)	……………0～3.5 \pm 0.4
	有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	……………2.4 \pm 0.2以下
	有機質系顔料 ^{※9}	……………0～2.0 \pm 0.2
	添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	……………0～1.5 \pm 0.2
	(2) 塩化ビニル系樹脂	
	…厚さ 2.8 ± 0.28 mm以下	
	質量 295.0 ± 29.5 g/m ² 以下 ^{※5} (有機質量 95.0 ± 9.5 g/m ² 以下 ^{※6})	
	構成 (g/m ²) ^{※5}	
	塩化ビニル樹脂	……………70.9 \pm 7.1以下
	可塑剤 ^{※7} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	……………38.2 \pm 3.8以下
	(但し、減粘剤は、0～6.8 \pm 0.7の範囲とする)	
	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………14.2 \pm 1.4以上
有機質系発泡剤 (アリジカルボンアミド系、オキシスチレンポリブタジド)	……………0～3.2 \pm 0.3	
有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	……………2.2 \pm 0.2以下	
有機質系顔料 ^{※9}	……………0～1.8 \pm 0.2	
添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	……………0～1.4 \pm 0.1	
(3) 塩化ビニル系樹脂		
…厚さ 2.8 ± 0.28 mm以下		
質量 285.0 ± 28.5 g/m ² 以下 ^{※5} (有機質量 85.0 ± 8.5 g/m ² 以下 ^{※6})		
構成 (g/m ²) ^{※5}		
塩化ビニル樹脂	……………63.4 \pm 6.3以下	
可塑剤 ^{※7} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	……………34.2 \pm 3.4以下	
(但し、減粘剤は、0～6.0 \pm 0.6の範囲とする)		
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………12.7 \pm 1.3以上	
有機質系発泡剤 (アリジカルボンアミド系、オキシスチレンポリブタジド)	……………0～2.8 \pm 0.3	
有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	……………2.0 \pm 0.2以下	
有機質系顔料 ^{※9}	……………0～1.6 \pm 0.2	
添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	……………0～1.2 \pm 0.1	

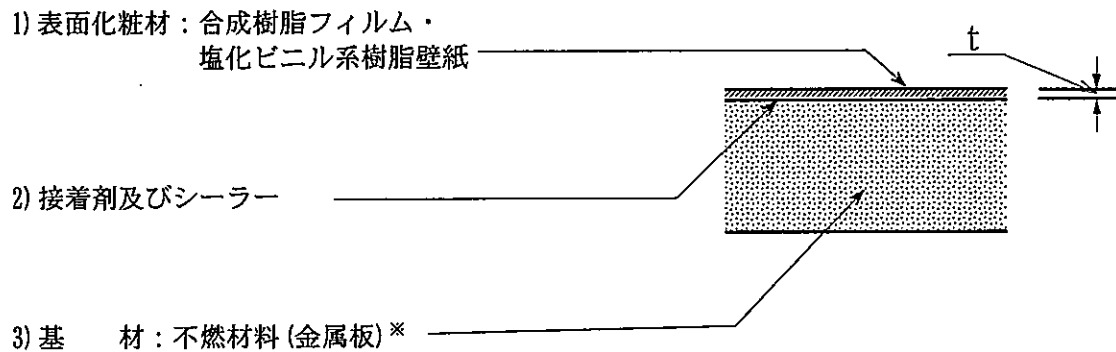
項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3] 裏打材^{※10} : (1) ~ (3) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 裏打紙 :</p> <p>…厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下</p> <p>質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下 (有機質量$65.0_{\pm 6.5}$g/m²以下)</p> <p>構成 (g/m²) : 1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="margin-left: 20px;"> <p>①有機繊維^{※11} …$65.0_{\pm 6.5}$以下</p> <p>(但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12}$15.6_{\pm 1.56}$以下とし、かつ有機質量を$52.0_{\pm 5.2}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※2} …$8.8_{\pm 0.88}$以下</p> <p>有機繊維^{※11} …$46.0_{\pm 4.6}$以下</p> <p>(但し、合成樹脂^{※2}を使用する場合、有機質量を$47.0_{\pm 4.7}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は$1.0_{\pm 0.1}$ ~ $16.6_{\pm 1.66}$とする。)</p> </div> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="margin-left: 20px;"> <p>①無機質系充てん材^{※8} …$0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$</p> <p>②なし</p> </div> <p>(2) 裏打紙 :</p> <p>([2] 主素材が (2) 又は (3) の場合に限る)</p> <p>…厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下</p> <p>質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下 (有機質量$75.0_{\pm 7.5}$g/m²以下)</p> <p>構成 (g/m²) : 1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="margin-left: 20px;"> <p>①有機繊維^{※11} …$75.0_{\pm 7.5}$以下</p> <p>(但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12}$18.0_{\pm 1.80}$以下とし、かつ有機質量を$60.0_{\pm 6.0}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※2} …$10.1_{\pm 1.01}$以下</p> <p>有機繊維^{※11} …$53.0_{\pm 5.3}$以下</p> <p>(但し、合成樹脂^{※2}を使用する場合、有機質量を$54.0_{\pm 5.4}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は$1.0_{\pm 0.1}$ ~ $19.2_{\pm 1.92}$とする。)</p> </div> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="margin-left: 20px;"> <p>①無機質系充てん材^{※8} …$0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$</p> <p>②なし</p> </div>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(3) 裏打紙： ([2] 主素材が (3) の場合に限る) …厚さ 0.5 ± 0.05 mm 以下、質量 150.0 ± 15.0 g/m² 以下 (有機質量 85.0 ± 8.5 g/m² 以下) 構成 (g/m²) : 1) 又は 1) と 2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※11} … 85.0 ± 8.5 以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12} 20.4 ± 2.04 以下とし、かつ有機質量を 68.0 ± 6.8 以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※2} … 11.6 ± 1.16 以下 有機繊維^{※11} … 61.0 ± 6.1 以下 (但し、合成樹脂^{※2}を使用する場合、有機質量を 62.0 ± 6.2 以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12}は $1.0 \pm 0.1 \sim 22.2 \pm 2.22$ とする。)</p> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※8} … $0 \sim 120.0 \pm 12.0$ ②なし</p> <p>※1: 合成樹脂フィルムは、エチレン・ビニルアルコール共重合体系樹脂フィルム、ポリプロピレン系樹脂フィルムのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2: 合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルキシンラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3: 無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機系抗菌剤のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4: 合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチレン・アルコールのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5: 質量及び組成は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合質量及び配合組成とする。</p> <p>※6: 有機質量は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。</p> <p>※7: 可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、イソキシン系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメチル酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8: 無機質系充てん材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、亜硫酸亜鉛、シリカ、金属粉 (アルミニウム)、鋳物粒及び鋳物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※9: 有機質系顔料は、アゾ系顔料、フラジオン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂^{※1}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10: 裏打材は、紙、無機質紙、不織布 (non woven paper) のいずれかとする。</p> <p>※11: 有機繊維は、パルプ、レーヨン、綿、麻、合成樹脂系繊維^{※12}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12: 合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニリデン、ポリエステル、ポリ塩化ビニルのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及び シーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量 $140_{\pm 14}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $100_{\pm 10}\text{g/m}^2$ 以下) 構成: 以下の [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <p>[1] 接着剤及びシーラー</p> <p>(1) 又は (1) と (2) の組合せとする …質量 $60_{\pm 6}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60_{\pm 6}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>(1) でん粉系接着剤 …質量 $60_{\pm 6}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60_{\pm 6}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">組成 (質量%)</div> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>でん粉のり</div> <div>……… $80_{\pm 2}$ 以上</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>補強剤^{※13}</div> <div>……… $20_{\pm 2}$ 以下</div> </div> <div style="margin-top: 5px;">(又は補強剤なし)</div> </div> </div> <p>(2) シーラー: 合成樹脂^{※14} …質量 $10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>[2] 防錆処理剤: 鉛・クロムフリーさび止めペイント (JIS K 5674 又は JIS K 5674 同組成品)</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) フタル酸系樹脂 …質量 $80_{\pm 8}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>(2) アクリル系樹脂 …質量 $80_{\pm 8}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ 以下)</p> </div> <p>2) …質量 $120_{\pm 12}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $80_{\pm 8}\text{g/m}^2$ 以下) 構成: 以下の [1] 又は [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <p>[1] 接着剤及びシーラー</p> <p>(1) 又は (1) と (2) の組合せとする …質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>(1) メチルセルロース系接着剤 …質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">組成 (質量%)</div> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>メチルセルロース</div> <div>……… $80_{\pm 2}$ 以上</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>補強剤^{※13}</div> <div>……… $20_{\pm 2}$ 以下</div> </div> <div style="margin-top: 5px;">(又は補強剤なし)</div> </div> </div> <p>(2) シーラー: 合成樹脂^{※14} …質量 $10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>[2] 防錆処理剤: 鉛・クロムフリーさび止めペイント (JIS K 5674 又は JIS K 5674 同組成品)</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) フタル酸系樹脂 …質量 $80_{\pm 8}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>(2) アクリル系樹脂 …質量 $80_{\pm 8}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>※13: 補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※14: 合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン (アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p> </div>

項 目	仕 様
基 材	不燃材料(金属板) 平成12年の建設省告示第1400号に例示された鉄鋼及び金属板のうち、すでに化粧を施されたものを及びアルミニウムを除くもの

4. 構造説明図(寸法単位:mm)



$t = 3.0$ 以下

※平成12年の建設省告示第1400号に例示された鉄鋼及び金属板のうち、すでに化粧を施されたもの及びアルミニウムを除くもの